



熊本バスケットボール株式会社

第10回定時株主総会

報告事項

第9期事業報告

1. チーム成績の概況

前期の赤字着地を受けてコロナ禍によるチーム予算の圧縮 26勝34敗（西地区6位）でシーズン終了



2. 経営成績の概況

当期売上高は3億425万円

(※前期比12.0%減、4,154万円減収)

営業損失△214万円、経常利益250万円黒字

単位：千円

	第7期（税込）	第8期（税抜）	第9期（税抜）
売上高	445,683	345,797	304,254
営業利益	26,211	△11,120	△2,146
経常利益	26,889	△9,330	2,497
当期純利益	26,560	△9,660	265

株式増資は133株式6,650万円

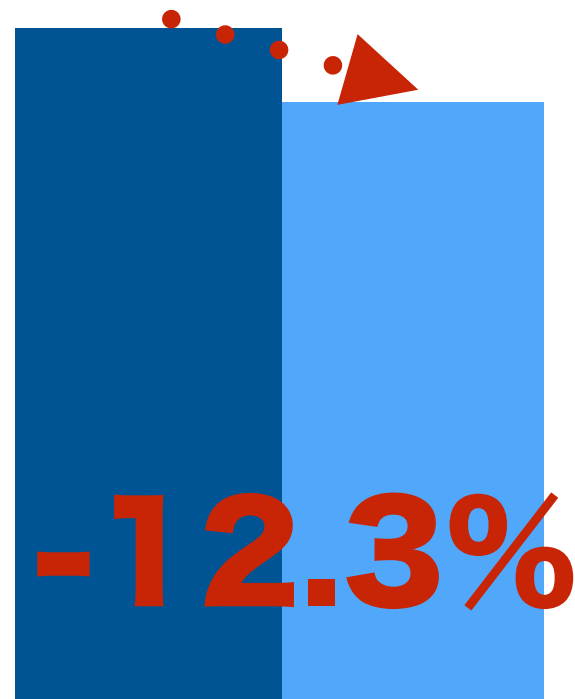
資本金は1億1,825万円

3.セグメント別売上高の概況

第8期 vs 第9期

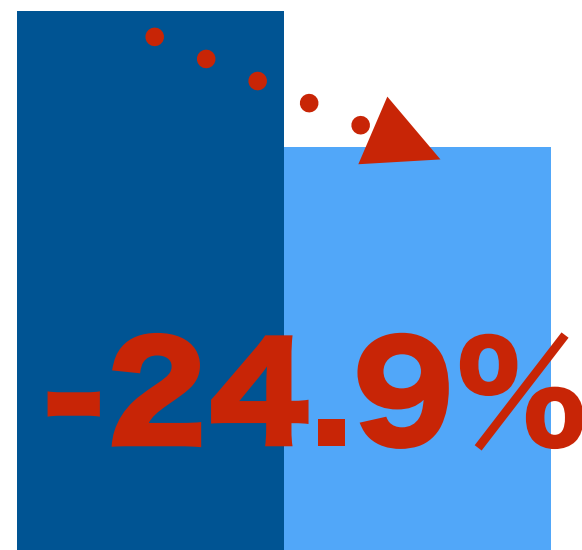
主要セグメントは物販収入を除き12～24%減収

パートナー事業収入



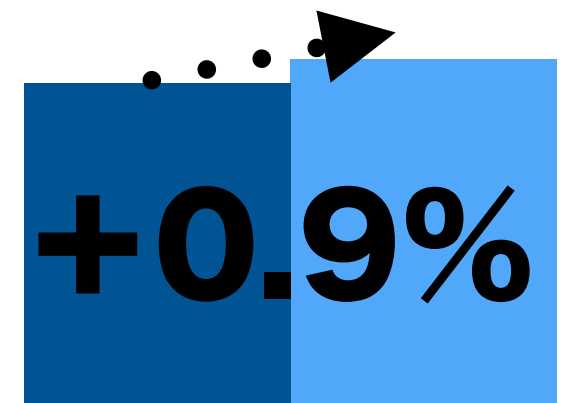
1,951万円減収

入場料収入



2,647万円減収

物販収入



18万円増収

リーグ配分金は3,157万円 (コロナ支援金含む)

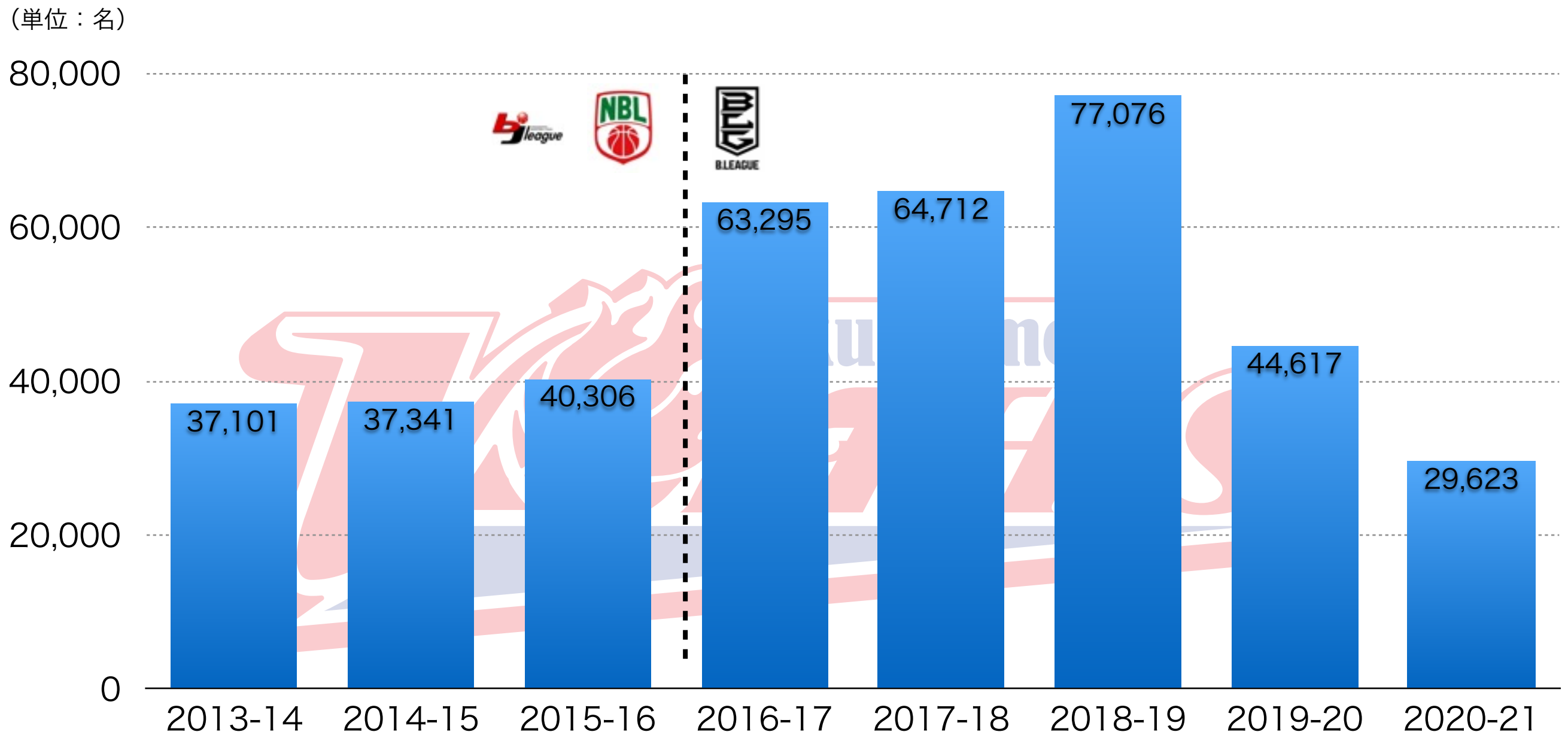
前期比800万円増 (+33.9%)

4.ホームゲーム来場者数の概況

B2全体（16チーム）観客動員数第2位

※昨シーズンはB2全体4位

観客動員数29,623名（1試合平均987名）



5.財政状態及び キャッシュフローの概況

**新型コロナウイルス感染症拡大による大幅な
減収の影響もあったが、株式増資を実施**

2021年6月末日時点

現金及び預金資金	2億1,965万円
株主資本	8,580万円

キャッシュフローは安定している

6.第10期の展望と戦略

悲願のB1昇格に向けてチームに過去最大の投資を実施

**B2フリースローランキング
1位佐々木・2位木田の残留**



+



経験豊富なドナルドベックHC

昨季B1準優勝チームからLJ・ピーク

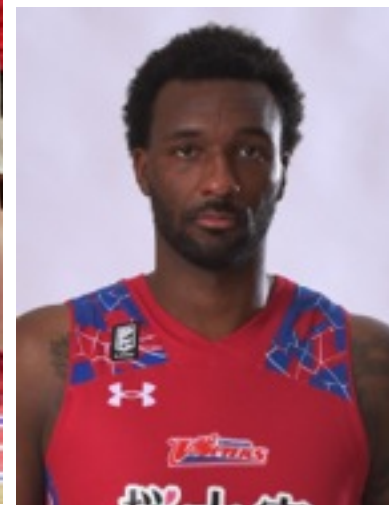
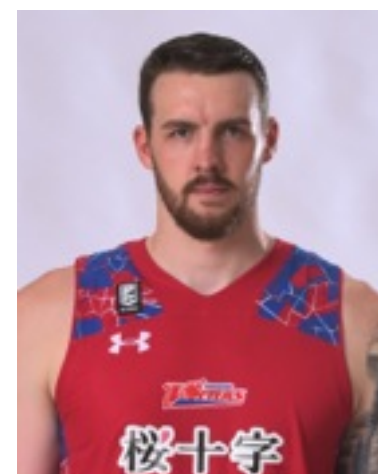
B1得点・アシストランキング2位のジョーダン・ハミルトン

B1広島から古野

経験豊富なヘッドコーチ



B2名古屋から移籍 B1宇都宮から移籍



B1滋賀から移籍

B1広島から移籍

7.第10期経営計画 と中長期計画へ向けて

第10期売上高目標 4億6,449万円

●パートナー事業部

【パートナー事業収入】

2億545万円に対して進捗率約64% (※9月1日時点)

●マーケティング事業部

【観客動員数】

45,000名/年間 1試合あたり1,500名目標

【ハーフシーズンシート】

販売数123席 売上5,894,200円 (※9月1日時点)

2026年「新B1」新設

2024年10月に「新B1」参入に向けて審査

【審査基準】 2022-23 ～ 2023-24シーズン

★第1基準

- 売上高12億円
- 入場者数4,000名

★第2基準その1

- 売上高9億円
- 入場者数4,000名

+

★第2基準その2

- 売上高12億円
- 入場者数3,000名

+

5,000名以上収容可能なアリーナ